

2027年
問題

2027年、蛍光灯が製造禁止に！

完全LED化の目標年度が、
何と3年も前倒しに!?
いま日本中が直面する「照明問題」とは



株式会社あかりみらい
代表取締役 越智 文雄氏

1957年、北海道生まれ。(一社)日本の灯りを護る会代表。日本除菌連合会長。北海道大学法学部卒業後、北海道電力入社。1997年、電気事業連合会企画部時代にCOP3に立ち会い、2008北海道洞爺湖サミットでは環境総合展事務局長を務める。環境問題・エネルギー問題・危機管理の専門家。

2027年から、世界的に 蛍光灯が製造されなくなる！

運送業・物流業における「2024年問題」の影響を身にしみて実感する1年となったが、近々また新たな危機がやってくるという。いや、近々などと悠長なことを言っている場合ではない。実はすでに瀬戸際を迎えているのが、照明の「2027年問題」だ。

事の発端は昨年の11月3日、スイスのジュネーブで行われた「水銀に関する水俣条約」の第5回締約国会議。2025年にコンパクト蛍光灯の製造が、そして2027年をもって直管蛍光灯の製造・輸出入の全面禁止が決議されてしまったのだ。これが何を意味するかを知れば、事態の深刻さが理解できるはず。何と2027年の12月31日を境に、「一般照明用の蛍光灯を一切製造しない」という国際条約なのだから！

製造終了ということは、その時点の製品・部品の在庫が尽きれば交換・修理が不能となり、その後はLEDに置き換えることになる。これが民間企業なら自社施設の設備のみ対応すればよいが、問題は自治体だ。政府は、カーボンニュートラル政策行動計画として2030年までに保有施設のLED化率100%を掲げていて、残りの自治体もこれに倣っている。罰則があるわけだし、あと6年でやれるところだけやれば良いとのんびりと構えていたところへ、3年前倒しで間に合わなければ遠からず停電(不点灯)となる。数百、数千、数万件の公共施設をどうやって

てLED化すれば良いのか途方に暮れている。

対象は街路灯や防犯灯、トンネル灯をはじめ、橋梁や港湾、空港、庁舎や公共施設、医療機関や教育機関まで、管理する全施設の全照明設備。LEDは照明器具の長寿命化や消費電力の抑制、メンテナンスコストの削減など利点が多いのだが、それは無事に取り替えた後の話だ。集合住宅・個人住宅や商業施設、工場や店舗など、民間のあらゆる施設もLEDの確保に殺到する中、生産・輸入は間に合うのか、施工を担う電気工事士を確保できるのか。しかも、既存照明の総量などそう簡単に把握できるわけもなく、見積りを取ることも困難。つまりこのままでは、最悪の場合、蛍光灯の寿命が尽きたらそのまま不点灯・停電となりかねないのだ。

民間のチカラを上手く活かして 一括LED化を目指す方法

この問題にいち早く危機感を持ち、啓発と対策に飛び回っているのが、エネルギーコンサルタント企業の株式会社あかりみらい(札幌市)の越智文雄代表だ。現在は経営の傍ら多様な媒体を通じて政府・国会議員や自治体関係者へ自らメッセージを発信し、LEDへの交換実務をサポートすべく奔走している。

一度に短期間で全照明設備のLED化を実現することは、予算的にも絶望的だ。そこで越智代表は、リースを活用した民間委託による一括LED化のスキームを提言。電気代

の大幅削減というLEDのメリットで財政を改善しながら、その分を長期の分割払いに回すことで、無理な予算要求に走ることなくLED化を実現できるという仕組みだ。また、スマホで撮影した照明配置図面の画像を送れば、同社が特許を保有する独自プログラムで試算するサービスも手がけている。

各自治体に広く発信する一方、左記の通り専門家としての知見と幅広い人的ネットワークを活かして各方面に連携を呼びかける越智代表。同社では、現状の調査から日程管理、入札・契約・工事などにまつる総合的なアドバイスが可能なので、先送りせず今日から着手を。

幅広い人脈をフル活用して「2027年問題」の啓発と対策に奔走中！ 多忙を極める越智代表の2日間に密着！

Day1

9:00 日本橋 あかりみらい東京支社にて、札幌・大阪・沖縄を結んでのリモート会議。議題はもちろんLED化の啓蒙・推進について。



10:00 渋谷 Nanobell株式会社を訪問し、LED照明へのカーボンナノチューブ技術の活用についての会議。中国の投資家も同席。



11:30 品川 国際ジャーナリスト・堤未果氏のYouTube配信番組『月刊アンダーワールド』にゲスト出演。2027年問題を2時間に亘り対談。

堤未果 アンダーワールド



13:30 タクシーの中で
空調自然冷媒交換の効果について電話会議。



14:30 永田町 自由民主党の片山さつき参議院議員を訪問。同氏が議連会長を務める感染対策を資材と技術から考える超党派議員連盟に日本除菌連合会長として協力依頼。2027年問題のエネルギー基本政策への位置付けを相談。



15:00 立憲民主党の川田龍平参議院議員を訪問。感染対策としての次亜塩素酸水活用について熱く議論。政府支援物資へのリスト化を求めることへ協力依頼。



16:00 虎ノ門 経済産業省情報産業課を訪問、2027年問題の情報交換。政府施策を追求。また、農林水産省にて農道・農道トンネルのLED化に関してレクチャーを実施。

18:00 京橋 川田龍平・堤未果夫妻と会食。照明問題やワクチン問題など新刊の打ち合わせ。



Day2

9:00 日本橋 一般社団法人全日本応援協会の朝妻久実代表理事が東京支社に来社。応援の力で日本をしあわせにする活動の全国展開についてアドバイス。



11:00 霞が関 環境省の地球温暖化対策室を訪ねて情報交換。政府脱炭素制度への要請と環境大臣への提言書を手交。



13:00 永田町 衆議院議員会館を訪問。高市早苗経済安全保障担当大臣、斎藤健経済産業大臣の事務所に挨拶。※取材時点

15:30 札幌 札幌本社に帰社。

19:00 すずきの 地元記者と会食。



「2027年問題」にどう備える?!

WEBセミナー
開催中

詳しくは
こちら▶



あかりみらい 自治体

お問い合わせ

akarimirai 株式会社あかりみらい

☎0120-760-814 受付時間/9:00~17:00 土日祝休

札幌本社/北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階
東京支社/東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階
大阪支社/大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階
沖縄支社/沖縄県那覇市久茂地2-19-5